

# 国道1号箱根峠～三島市三ツ谷新田の事故対策概要

事故対策実施地区の事故発生状況・今年度実施する事故対策

## 事故対策実施地区の事故発生状況

・国道1号の静岡県田方郡函南町～三島市三ツ谷新田間の約10km区間は、ヘアピンカーブが連続する峠特有の道路構造となっており、深夜のスピード超過による車両単独事故が多発しているとともに、一般通行車両を巻き込んだ正面衝突事故など重大事故も発生している。

・平成16年度には、交通事故防止対策としてヘアピンカーブを含めた2箇所の中央帯へ剛性防護柵(L=330m)を試行的に設置し、この対策によりセンターラインをはみ出す事故の発生を激減させる効果が得られました。

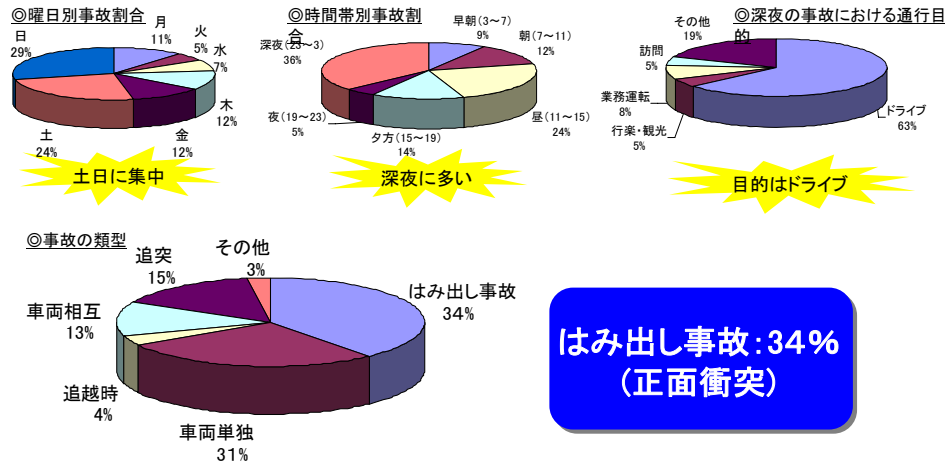
・今年度、試行的に実施した剛性防護柵の効果が実証されたことで、特に事故が多発している区間において正面衝突の事故を撲滅するため剛性防護柵の設置を行います。又、カーブ箇所にカラー舗装等を設置し、注意喚起及び減速を促す対策も実施します。



## 【事故特性】

- ・事故特性については以下に示す特徴が見られます。
- 104.0～114kp L=10.0km区間における平成11年～平成15年の5年間の事故件数
- ・全体事故件数 820件(内死傷事故 208件)
- ・はみ出し事故件数 275件(内死傷事故 95件)

## 事故発生状況



## 今年度実施する事故対策

- ・対象区間は、ヘアピンカーブが連続する峠特有の道路構造となっており、スピード超過によるセンターラインをはみ出しによる「車両単独事故」「正面衝突事故」などの重大事故が多発している。
- ・そのため**剛性防護柵**、カラー舗装、減速ベルト等の対策を組み合わせることで本検討区間の特徴的な事故要因を排除していく。

車両単独事故 ⇒ 対策①

正面衝突事故 ⇒ 対策②

### 剛性防護柵

- ・正面衝突事故対策として中央帯に剛性防護柵を設置することで、物理的に反対車線への飛び出しを防ぐ対策。
- ・接触事故や単独事故の防止とはならないものの、死亡事故に至りやすい「正面衝突事故」の防止策として当該地区(区間D・E・F)でも大きな効果を発揮している。

剛性防護柵



### カラー舗装(すべり止め舗装)

- ・噴射時に骨材を散布し固着させるため高いすべり抵抗値が得られ、スリップ事故を抑止する対策。
- ・ヘアピンカーブ部において路面に設置する。

カラー舗装  
(すべり止め舗装)



### 減速ベルト

- ・今回の事故対策では速度超過を抑える目的として、カーブ区間のカラー舗装(すべり止め舗装)と一体的に整備する対策。
- ・路面上に薄い層(凸型)を付け、ドライバーへ振動を与えることで速度抑制および注意喚起を促す。

減速ベルト



### 対策①

- ・ヘアピンカーブ部における事故多発区間
- ・速度超過による事故が特徴的な区間

カラー舗装  
(すべり止め舗装)

+

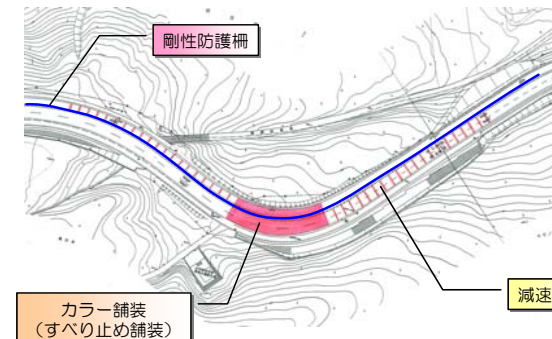
減速ベルト

### 対策②

- ・正面衝突事故が多発している区間

剛性防護柵

or (中央帯ブロック  
+ポストコーン) ※注



対策①と対策②を実施した対策イメージ

※注:中央帯ブロック+ポストコーンについては、剛性防護柵を設置するスペースが無い場合の代替案である。